

◎ 美術館情報

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの美術館等で、臨時休館やイベントの休止、展覧会の中止や開催期間の変更、および入館方法等が変更になっています。

状況が日々変動しているため、各施設の公式ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

【各施設では、下記の特別展・企画展等のほか、常設展を開催しております。】

1. 公益財団法人横山美術館【愛知・名古屋】(<https://www.yokoyama-art-museum.or.jp/event/>)

3月13日(土)～6月13日(日)

企画展： やきものの心おぼに挑んだ瀬戸・美濃の美

瀬戸焼と美濃焼は千年を超える歴史を有し、隣接する両地域は互いに交流を続けました。瀬戸においては国内外で高い評価を受けて瀬戸焼の輸出の途を開いた川本榊吉や、大物づくりに長けた加藤紋右衛門、陽刻などの立体装飾を巧みに行った川本半助らが活躍し、美濃においても染付の細密画を得意とした加藤五輔や、精緻な薩摩焼風の作品に才能を発揮した成瀬誠志、美しい吹き絵の釉下彩で知られる西浦焼の西浦圓治などが現れました。本展では、優れた技巧で世界を魅了した近代の瀬戸焼・美濃焼の美を紹介します。



2. 金沢市立中村記念美術館【石川・金沢】(<https://www.kanazawa-museum.jp/nakamura/exhibit/index.html>)

1月4日(月)～4月11日(日)

企画展： おいしいものの器 ～It looks delicious!～

美術館で展示されている皿や椀などの器は、見て鑑賞する作品。しかし、元々は”食べ物を盛る ための器”として作られたものです。美術館では展示作品を使用する事はほとんどありませんが、「展示されている器を实际使ったら、どんな感じになるのだろうか?」と思った事がある方は多いのではないのでしょうか。本展では、<実際に器として使った写真>を作品と一緒に展示し、金沢のおいしそうなお料理をきれいに盛ったお重や鉢、季節のお菓子を盛った菓子器など、実際に使っている写真とともに作品をご覧ください。展示をとおして、工芸作品を器として用いた時の楽しさや、料理やお菓子を引き立てる器としての魅力をお楽しみいただき、あわせて”おいしそうなお料理やお菓子”を想像の中でご堪能いただきたいと思います。



3. 兵庫県陶芸美術館【兵庫・篠山】(<https://www.mcart.jp/exhibition/e3201/>)

3月20日(土)～5月30日(日)

特別展： 開館15周年記念特別展

「No Man's Land—陶芸の未来、未だ見ぬ地平の先—」

「No Man's Land(ノーマンズランド)」には、「主のいない、不毛の土地」を表わすと同時に、「複数の異なる領域が重なり合った曖昧な状態」という意味も込められている。しかし、そこにしか存在しない、あるいは、そこにこそ見えてくるものの中に、これからの陶芸を革新していく新しい価値観を見いだすことができるのではないだろうか。本展では、そんな問いかけのもと、伝統的な陶芸の素材や技法を駆使しながら、独創的な作風で、工芸のみならず、現代美術、デザイン、建築などの幅広い分野から注目を集める1970～1980年代生まれの15名の作家の作品を通して、「陶芸の未来」を再考する。

